

冬期の気温の変動がブロッコリーの生育と収穫期等に与える影響

長岡勝己

冬期の気温の変動がブロッコリーの生育と収穫期等に与える影響を明らかにするために、1982～1984年に、“グリーンビューティ”を供試し、8月10日から9月30日まで、おおむね10日間隔に播種して、気温と生育、収穫期等の関係を調査した。

1. 播種期が遅くなるに従って、植物体の生育が抑制されるとともに、生育日数は長くなった。また、播種期が同じでも、生育期が低温であると、生育日数は長くなった。
2. 花蕾形成の成否の限界平均気温は3°C付近であり、上物率70%以上を得るための花蕾形成平均気温の下限は8°C付近であった。
3. 収穫期間は暖期では短く、寒期には長かった。
4. 香川県での遅まきの限界は8月30日頃であり、収穫の終期は2月中旬であった。